

これまでのリサイクル率

(環境省ホームページ・人口10万人未満の自治体)

平成16年度	73.7%	第4位
平成17年度	69.6%	第6位
平成18年度	80.0%	第1位
平成19年度	81.4%	第1位
平成20年度	79.0%	第1位
平成21年度	80.2%	第1位
平成22年度	80.7%	第1位
平成23年度	79.5%	第1位
平成24年度	79.2%	第1位
平成25年度	80.0%	第1位
平成26年度	81.9%	第1位

平成18年度から平成26年度までの実績

9年連続日本一!!

主な受賞歴

★平成20年2月

『ストップ温暖化「一村一品」大作戦2008』(環境省) 鹿児島県代表として出場。

『知恵の環 ひとの環 資源の環

ストップ温暖化プロジェクト』が

特別賞『**地域循環賞**』受賞。

★平成27年11月

『フード・アクション・ニッポン アワード2015』

菜の花エコプロジェクトから生まれた菜種油

『ヤッタネ! 菜ッタネ!!』が

食品産業部門『**最優秀賞**』受賞。

★平成27年11月

『平成27年度循環型社会形成推進功労者』(環境省)

資源リサイクル率日本一の原動力となった

大崎町衛生自治会の取り組みが評価。

団体の部『**環境大臣賞**』受賞。

ごみ減量化の経緯等

平成2年7月	曾於南部清掃センター埋め立て開始
平成10年9月	資源ごみ3品目の分別開始(缶・ビン・PET)
平成11年8月	そおりサイクルセンター完成(民間施設)
平成12年6月	資源ごみ16品目の分別収集開始
平成13年4月	生ごみモデル地区回収開始(180戸)・資源ごみに雑金属などを追加し24品目に
平成13年10月	菜の花エコプロジェクトに着手
平成14年4月	生ごみ分別と割り箸を追加・草木・剪定くずと生ごみ堆肥化・有機工場稼働(民間施設)
平成14年6月	全事業所の生ごみ分別開始
平成14年7月	埋め立て処分場が35年の延命
平成16年7月	有機物の埋め立て処分を全面禁止
平成17年7月	資源ごみに陶器類を追加し28品目に
平成18年4月	粗大ごみのステーション回収廃止、戸別回収へ
平成23年10月	高齢者等へのごみ出しサポート事業開始
平成24年8月	新聞とチラシ、雑誌と雑古紙を統合し26品目に
平成24年8月	JICA草の根技術協力事業にてインドネシア共和国デポック市への環境指導開始(3年間)
平成25年4月	資源ごみに使用済み小型家電を追加し27品目に
平成27年8月	JICA草の根技術協力事業にてインドネシア共和国バリ州への環境指導開始(2年間)

